

吹田市議会議員

いけぶち佐知子

通信

NEWS未来にまっすぐ

2014年 No.8

〒565-0851 吹田市千里山西5-2-5 TEL&FAX 06-4861-7418

公開学習会「二元代表制と

自治体議会の可能性」に参加

七月十二日に日光市で開催された、「地方自治を学ぶ会」の公開講座に参加しました。講師は議会改革の先進議会である三重県議会の前事務局次長の高沖秀宣さんでした。

以下、レポートします。

議会改革は「自治」の問題である

議会は「住民自治の根幹」であるにもかかわらず、住民から遠い存在になっているのではないかと

「二元代表制」をどう捉えるか？

議会が首長の提案をそのまま可決するだけの機関になっていないか？議会の役割である「監視機能」と「立法機能」は果たせているのか？

首長と議会の二元代表制とは、議会が「自治のかたち」をどう形成するかということに帰着する。

三重県議会では、北川元知事の時代に、執行機関だけの「政策立案→執行→評価」サイクルとともに、議会としてのサイクルが必要と考え、議会による「政策方向の表明→政策決定→執行の監視・評価→次の政策方向の表明」の別次元サイクルを考えた。

三重県議会基本条例の課題

三重県議会では附属機関を設置している。

地方自治法では首長が設置することとは規定しているが、議会についての規定はない。しかし、設置してはならないとも書かれていないので、議会基本条例に議会の附属機関の設置根拠を規定し、運用した。

その後、他の自治体の議会基本条例でも規定されることが続き、実際に審議会が設置された例もある。

専門的知見の活用が地方自治法で法的に認められたことから、議会にも付属機関の設置、活用を認められるべきである。

議会としての設置、活用の成果、実績を積み上げることが重要である。従来の地方議会法制に必要以上にとらわれる必要はない。

自治体議会改革—通年制議会

議員の力を増すのと同様に議会事務局職員を増すことも重要である。研修は議員だけでなく、議会事務局職員も受けるべきである。

議会への市民参加の場としての場として参考人・公聴会制度がある。開催までに手続きに時間がかかるので、通年議会にするなど、議会の会期を長くする必要がある。



議会報告会は、議会から市民への一方通行ではなく、市民を軸とした開催が望ましい。

自治体議会の可能性

議会が政策方向を首長より先に表明できるかどうか？首長の提案に代替案を出せるかどうか？によって議会の存在意義が明らかになる。まずは予算の修正案から手を付けてはどうか。

議長の実質的人事権の行使。議会事務局の調査及び法務機能の充実に努めるために、たとえば首長部局から議会の政策立案等に資する職員を議会事務局職員として出向させるよう首長に要請する。

議員間討議の活性化のために、まず論点整理が重要である。したがって、事前調査資料作成担当の事務局職員を配置・養成すべきである。

文教産業委員会行政視察の

事前研修会を開催

八月六日、七日の文教産業委員会の行政視察のために、事前に吹田市の状況説明を受けました。

せっかくの機会なので、委員以外の議員全員に声をかけさせてもらいました。文教産業委員会の委員九人中六人と、委員外の議員六人を合わせ、合計十二人が事前研修会に参加しました。

視察目的である三つのテーマに関する事業について、各事業の概要と、現状、そして課題を話していただきました。

基本的に説明されたことについての質疑とし、それぞれ質疑応答を含めて三〇分間ずつであることなど、進め方について委員長として説明し、研修会を始めました。

吹田市における英語教育について

(学校教育部指導課)

〈課題〉

- (1) 小学校教員(担任)の指導力向上(研修の充実、中学校との連携)
- (2) 英語指導助手(AET)の活用(人材の確保、質と量)
- (3) ICT機器の充実と活用

こどもプラザ事業について

(地域教育部生少年室)

〈課題〉

- (1) 市民協働による主体的運営の実施
- (2) 継続的・安定的で持続可能な体制で実施
- (3) 全市的レベルアップへの拡充
- (4) 実施場所の確保

《行政視察前の事前研修会について》

二度目の事前研修会の開催です。前回は、財政総務委員会の委員長のとときに、行政視察テーマに関連する「吹田市の契約制度」「災害など非常時における業務継続計画(BCCP)」の取り組みについて、説明をしてもらいました。

執行機関側としては、正式な委員会でもないのに、説明したり、質疑応答したりするのは、かなわんなあと思われているかもしれない。でも、あくまでも研修会ですので、説明していただいたことに対する質疑応答に限定しています。さらに聞きたい方は、個別に聞いたり、本会議の一般質問や質疑、委員会での議案審査でもらえばいいことだとも伝えていきます。

また、新しく時間をかけて資料を作らなくても、出前講座や予算要求の時に使う資料でよい、ということも担当職員には伝えていきます。

学校の修学旅行も授業の中で事前学習をしっかりとされると聞きます。議員は、物見遊山で視察に行っているんじゃないの？と、思われたくありません。吹田市の現状、課題を踏まえて視察に行ってください。

学校図書館と市立図書館について

(教育部総務部学校管理室、学校教育部指導課、地域教育部中央図書館)

〈課題〉

- (1) 図書標準冊数に対する蔵書率は小学校86.1%、中学校84.6%である。
- (2) 100%を目指して新規購入をしているが、廃棄冊数との関係で、100%達成するには至っていない

いけぶち佐知子のプロフィール

- 1957年 和歌山県生まれ。
- 1979年 大阪大学薬学部卒業。薬剤師。
- 1994年 吹田市立女性センター(現 男女共同参画センター)の非常勤職員として再就職。

自宅マンション裏の開発問題をきっかけに、市政に関心を持つ。

市民のための政治を求め、吹田市議会議員選挙に立候補。

- 1999年4月 初当選。現在、吹田市議会議員(4期目)。

環境、福祉、まちづくりの市民団体に所属し、市民活動にも励んでいる。

いけぶち佐知子事務所
吹田市千里山西5-2-5



平日 10時~15時 OPEN